

# 東播磨地域新設特別支援学校開設準備室だより

発行日 令和7年11月21日(金) 第8号

## 校歌作曲を音楽ユニット「ヤエモリ」のお二人に依頼しました！

新設校の校歌を作曲してくださるのは、加古川市や高砂市に深いご縁がある音楽ユニット「ヤエモリ」のお二人です。お二人は通学区域内の中学校出身で、ヤエオ雄太さんは氷丘中学校、森本千鶴さんは志方中学校の卒業生。ユニット結成後の初ライブは高砂市の「じょうとんぱホール」で行われました。現在は「ピアノ2台で歌を奏でるユニット」としての活動に加え、ラジオパーソナリティとしても活躍されています。BAN-BAN ラジオ(86.9MHz)「じもラジ木曜日」にも出演中です。



お二人の写真は「ヤエモリ」HPより  
<https://yaemoriyaemori.jimdofree.com/>

これまでに、加古川市立志方中学校70周年アニバーサリー3部合唱曲「大空」や、加古川市教育委員会「心の絆プロジェクト」の楽曲「絆」など、地域に寄り添った作品を数多く手掛けてこられました。また、教育現場での音楽活動を通じて、子どもたちの未来を応援する温かい思いを届けておられます。

先日の打ち合わせでは、笑顔あふれるお二人の誠実な言葉に心が温まりました。幼少期や学生時代の思い出、地元での音楽活動についても伺い、お二人の優しいお人柄を改めて感じました。そんなヤエモリさんが、地域の皆様の願いと子どもたちへの希望を込めて作る校歌は、きっと新しい学校の大切な宝物になることでしょう。完成した曲を聴くのが、とても楽しみです。

作詞につきましては、新設校に通う子ども達を思い浮かべながら、校名に込めた思いや学校教育目標などがイメージできるように考えています。また、「学校づくりアンケート」でご回答いただいた新設校への期待や励まし、「大切にしてほしい言葉」から、地域の皆様の思いや願いを紡ぎながら歌詞を作成していきます。それぞれの想いが一つになり、素敵な校歌となりますように。

## 開校に向けた準備が進んでいます。

現在、学校施設の改修工事が着々と進んでいます。

体育館では、空調工事が完了し、外壁の塗装も終了しました。新しい設備で、子どもたちが快適に活動できる環境が整いつつあります。

プールでは、プール槽やプールサイドの塗装が終わり、鮮やかな色彩が目を引きまします。さらに、児童生徒の移動がスムーズにできるよう、入り口にスロープを設置しました。来年の夏、新しいプールで学習する子どもたちの元気な声が響くことでしょう。



校舎内も工事が進んでいます。教室と廊下を隔てる壁が設置され、少しずつ教室らしい姿になってきました。壁や床は、児童生徒が過ごしやすいうように温かみのある色合いで統一されます。学校周辺の雰囲気にもぴったりの仕上がりになる予定です。4月の開校を楽しみにお待ちください。

## 「ゆめと希望」の種

過ごしやすい季節もあっという間に過ぎ、冬の気配を感じる頃となりました。新設校の周辺では紅葉が進み、写真を撮りながらウォーキングを楽しむ方の姿も見られます。先日、夕刻の工事現場で見た夕日が忘れられず、別の日に加古川河川敷へ足を運びました。河口に沈む夕日は空を赤く染め、時間とともにオレンジや紫へと変わっていきます。「本校のイメージに合う色」として挙げられた“夕日の赤”を思い出しながら、その美しい光景に見入っていました。秋の夕暮れは暗くなるのも早いものです。静かな川面に映る光を眺めながら、季節が少しずつ冬へと移り変わっていくことを感じました。



※第9号は、12月下旬頃を予定しています。(兵庫県教育委員会事務局特別支援教育課HPをご覧ください)